



大阪税関 敦賀税関支署
支署長 小川 剛史 さん



税関密輸ダイヤル (☎ 0120-461-961)

シロイ クロイ



▲大阪税関 HP



▲X線車で貨物検査



▼麻薬探知犬の検査風景

税関3つの使命

- ①安全・安心な社会の実現
- ②適正かつ公平な関税等の徴収
- ③貿易円滑化の推進

税関は3つの使命を果たすべく取り組みます

敦賀税関支署は大阪税関管轄の8つの支署のうちの1つであり、福井出張所（福井市）と共に福井県（高浜町・おおい町を除く）を管轄区域として業務を行っています。

税関は、輸出入貨物の通関や、海外から訪れる旅客や船舶の取締りなどを行っています。覚醒剤・大麻などの不正薬物やテロ関連物資のほか、コピー商品や金地金などの密輸阻止に取り組んでいます。

税関では、巧妙化する密輸手段に対応するため、X線検査装置や麻薬探知犬など、様々な取締・検査機器を活用し、水際での密輸阻止に向け取り組んでおりますが、皆様からの情報提供によって不正薬物の密輸阻止につながったこともあります。安全・安心な社会の実現のため「港で不審な船舶を見た」「海岸に不審な袋があった」など些細なことでも結構ですので税関までご連絡ください。

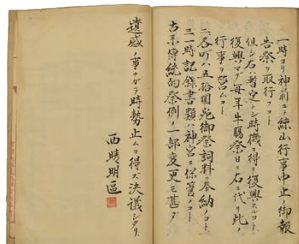
税関は、明治5年（1872年）に運上所から名称を「税関」に改めて、本年11月28日に150周年の節目を迎えます。特別企画として日本関税協会との共催で小中学生向けの絵画コンクールも行っています。ぜひこの機会に税関の役割を知っていただきたいと思います。たくさんのご応募お待ちしております。（詳しくは税関HP）

まちの宝を発見！ つるが歴史遺産



今年山車の入れ替え
が行われます！

案内人 学芸員 奥本 律子



▲牛腸番組規約



▲金ヶ辻子山車（巡行）

困難を越えてきた「つるがの山車」

「古来伝統的祭礼の一部変更も甚ダ遺憾ノ事ナガラ時勢止ムヲ得ズ決議シタリ」

これは、山車行事を担っていた町が決める事などを記録した「牛腸番組規約」の中の一文で、昭和22年、山車巡行をしばらくの間中止する事を決めた時のものです。昭和20年7月の敦賀空襲で町が深刻な被害を受け、多くの山車が焼失した戦後の混乱の中、苦渋の決断をした様子がうかがえます。

山車巡行は、このように休止や改変を余儀なくされた歴史がありますが、同時に、困難にあつても何とか伝統行事を継続しようと奮闘してきた町の人たちの足跡でもあります。

明治維新後の改変で、町が曳き出す「大山車」が廃止された際、ある町では毎年出す事になった小山車を購入するため町内から寄付を募っています。町の区画変更では、山車を出す区域が偏った事で巡行を断念する町が出る一方、要望して新しく巡行に加わる町もありました。

昭和22年の記載では「時機ヲ得テ復興スルコト」「記録書類ハ保管ノコト」と、山車行事を復活させる強い意志が込められ、記録を残す事の重要性にも触られています。昭和53年の本格的な巡行復活までには長い時間がかかりましたが、その後も山車を復元するなど、現在までその努力は続いています。

一度休止した伝統行事を継続するのがいかに大変な事か、コロナ禍の中で多くの人が実感しているのではないのでしょうか。令和4年も感染症拡大防止の観点から「敦賀まつり」は中止となりましたが、勇壮華麗な山車巡行の再開に向けて尽力される人々たちへの尊敬の念を持って待ちたいと思います。

広報担当者のつがやき

毎年7月は職場の健康診断です。1年の中で最も自分の体と向き合う月でもあります。測定結果を見るたびに「来年こそ」と思うのですが、気付くと1年経過しています。同じように思う方も少なくないのではないのでしょうか。体調管理の大事さを改めて感じる7月です。(T)

敦賀気比高校が夏の甲子園出場を決め、今号が発行されるころには熱戦が繰り広げられています。今年の3年生は、入学直後から新型コロナの影響を受け、常に困難がつきまわっていたことと思います。逆境に立ち向かい練習してきた成果を発揮し、全国に感動を届けることを願っています！(M)